

3. 交通バリアフリーに関する市民意向の把握

交通バリアフリーに関する市民意向を把握するため、アンケート調査及びタウンウォッチングを実施しました。

(1) アンケート調査の実施

アンケート調査の実施結果は以下のとおりです。

- 調査時期：平成16年10月～11月
- 配布部数：1100部
- 回収部数：341部（回収率31%）
 - （内訳）・鉄道利用者：30部／200部（15%）
 - ・バス利用者：32部／200部（16%）
 - ・駅周辺地区住民（ポスティング）：279部／700部（39.9%）

表3. 1 アンケート配付別回収状況

配付方法	配付対象	配付数	回収数	回収率（%）
降車客へ手渡し （10：00～12：00、13：00～14：00）	鉄道利用者	200	30	15.0
	バス利用者（駅前）	200	32	16.0
ポスティング（周辺地区家屋の郵便受けに投函） * 障害者等は団体を通じて配付		700	279	39.9
合 計		1100	341	31.0

(2) アンケート調査結果概要

1) 鉄道・バス利用者調査

① 年齢構成と移動時の身体的負担

鉄道・バスを利用する回答者の年齢は、全世代にわたってみられますが、特に60歳以上の人が過半数を占めています。

移動の身体的な困難者は、回答者の約4割に達しています。その中では「肢体(足)」、「妊娠・幼児同伴」、「高齢のため」の人の比率が高くなっています。

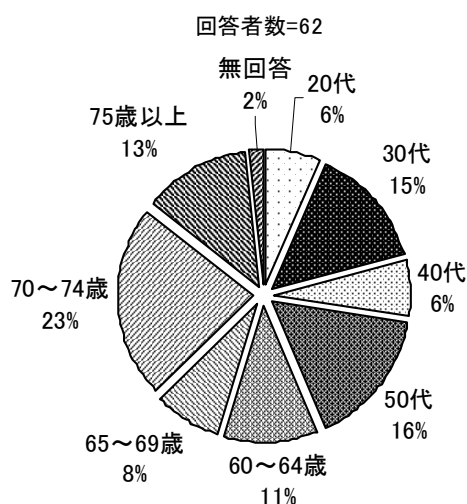


図3. 1 鉄道・バス利用者の年齢

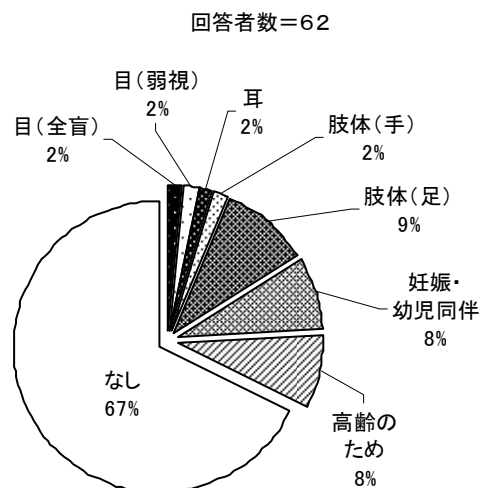


図3. 2 移動時の身体的負担

② 駅から施設への経路上の問題点

駅から普段よく利用する施設への経路についての問題点としては、年齢にかかわらず「障害物がある」ことを指摘する人が最も多く、その他「歩道の段差」や「歩道の傾斜」などに問題を感じています。65歳以上の高齢者についても同様です。

このことから、経路の問題としては案内や照明などの利便性・快適性よりも、歩行空間としての物理的な通行の安全性に問題を感じている人が多いといえます。

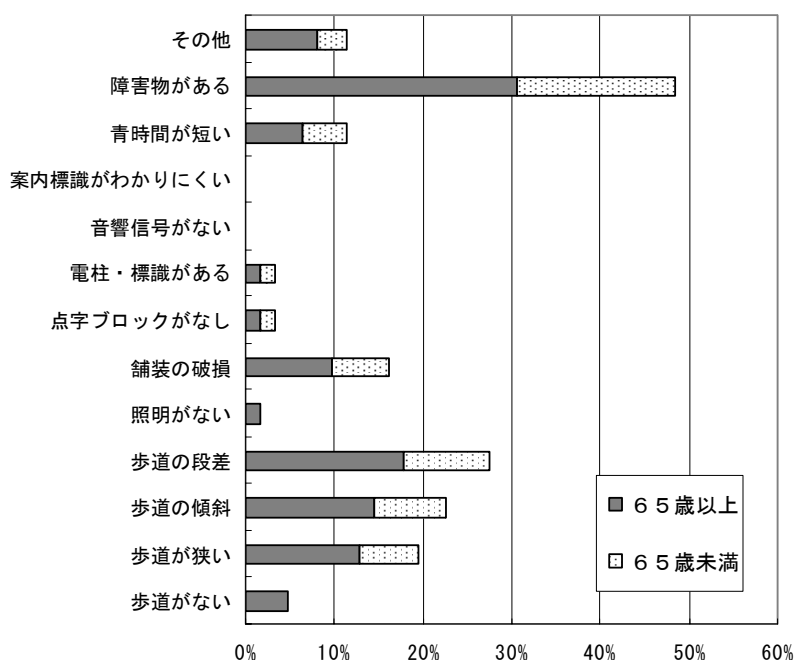


図3.3 駅から普段よく利用する施設への経路の問題点

③ 駅の問題点

回答者の年齢にかかわらず「下りエスカレーターがない」や「エレベーターが使いにくい」など、駅構内での移動に不便を感じている人が多く、ついで「トイレがわかりにくい」や「列車通過や到着がわかりにくい」などの案内情報に問題を感じている人が多くなっています。

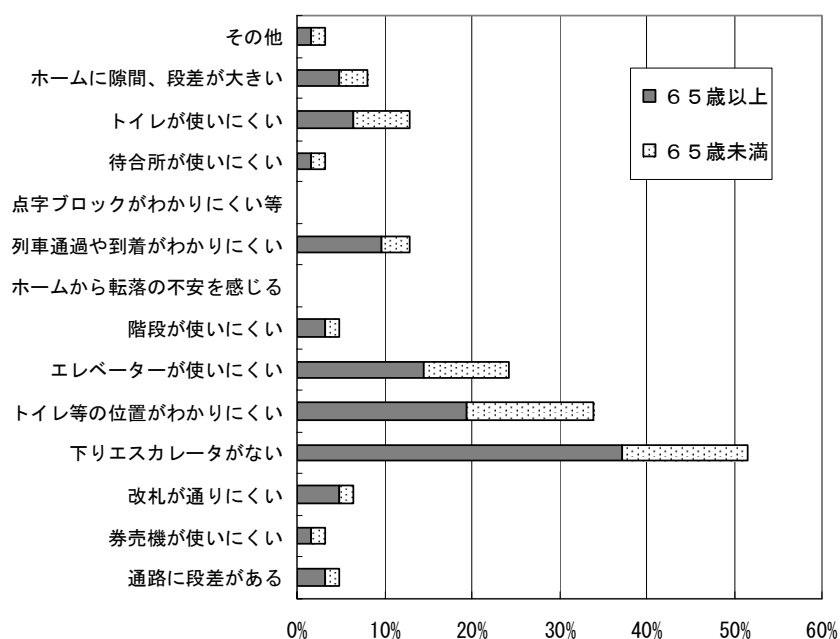


図3.4 駅の問題点

④ 駅前広場の問題点

駅前広場での問題点では「放置自転車が多い」が突出しています。これに次いで「バス時刻表がわかりにくい」が多く、次いで「通路に段差がある」や「バスの乗降がしにくい」などの問題を感じている人が多くなっています。

このことから、スロープや階段などの設備面での通行上の問題よりも、放置自転車や歩道の段差などの障害物に不便を感じているといえます。

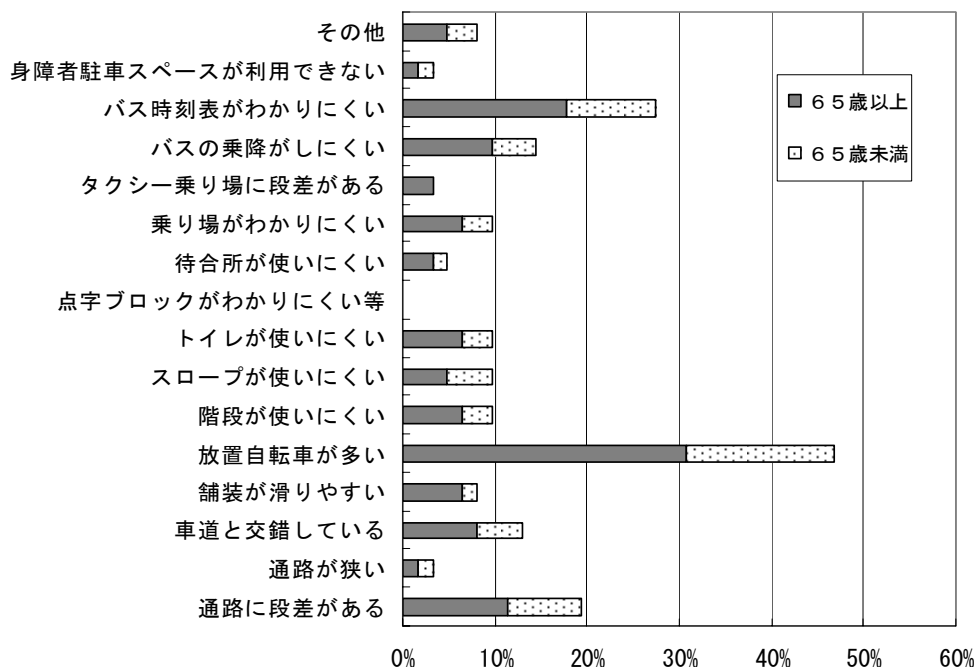


図3. 5 駅前広場の問題点

2) 駅周辺地区住民調査*1

① 年齢構成と移動時の身体的負担

回答者の年齢は全世代にわたってみられます。このうち、高齢者の占める比率は約 50%となっています。移動の身体的な困難な人では、「肢体(足)」や「高齢」の人が多いです。

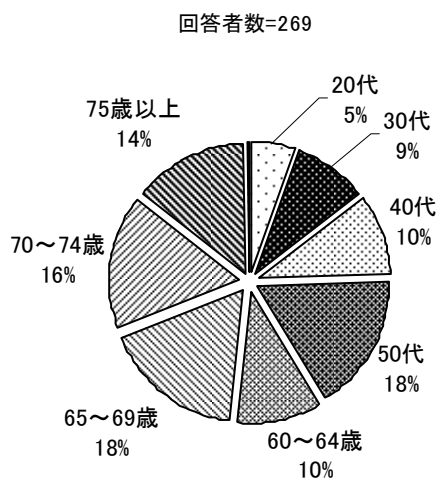


図3. 6 回答者の年齢構成

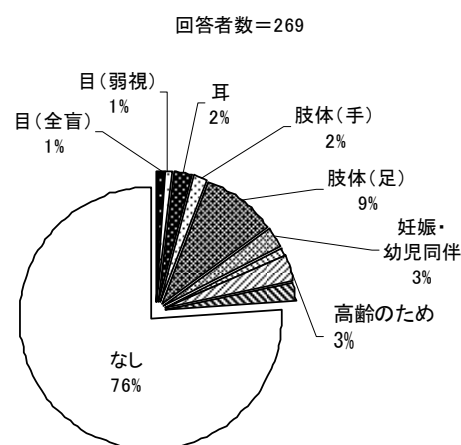


図3. 7 移動時の身体的負担

*1) 障害者団体等を通じて一部配付している。

② 高齢者、障害者が感じる問題点

駅の問題点として、高齢者、下肢不自由者は「下りエスカレーターがない」ことが最も多く、視覚障害者（全盲）は、「トイレの位置がわかりにくい」、「エレベーターが使いにくい」と感じている人が多いです。

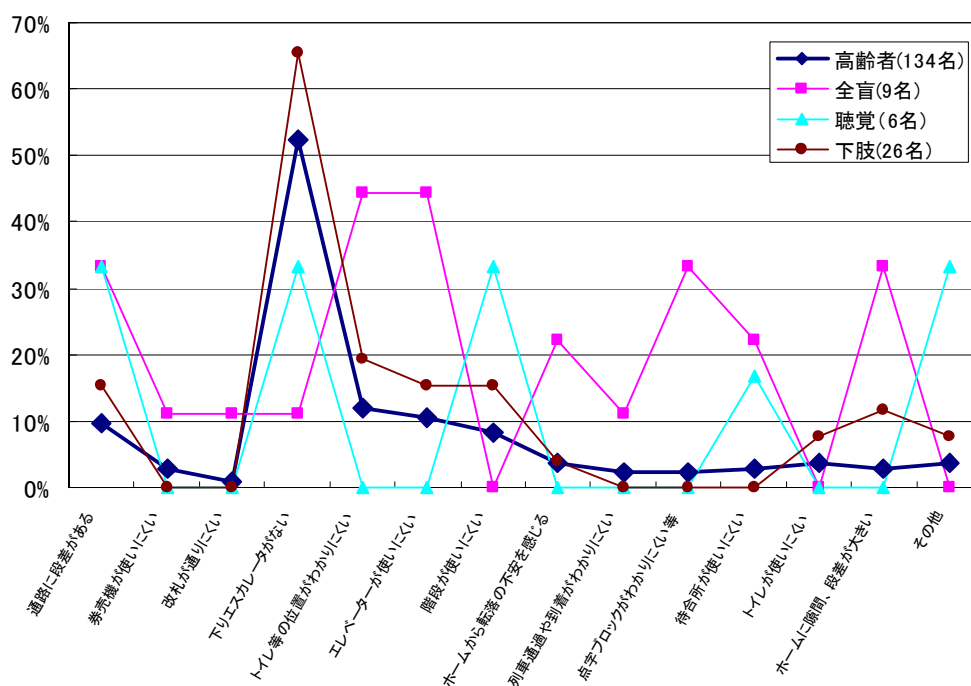


図3. 8 駅の問題点

駅前広場では、属性に関係なく「放置自転車が多い」と感じている人が最も多いです。

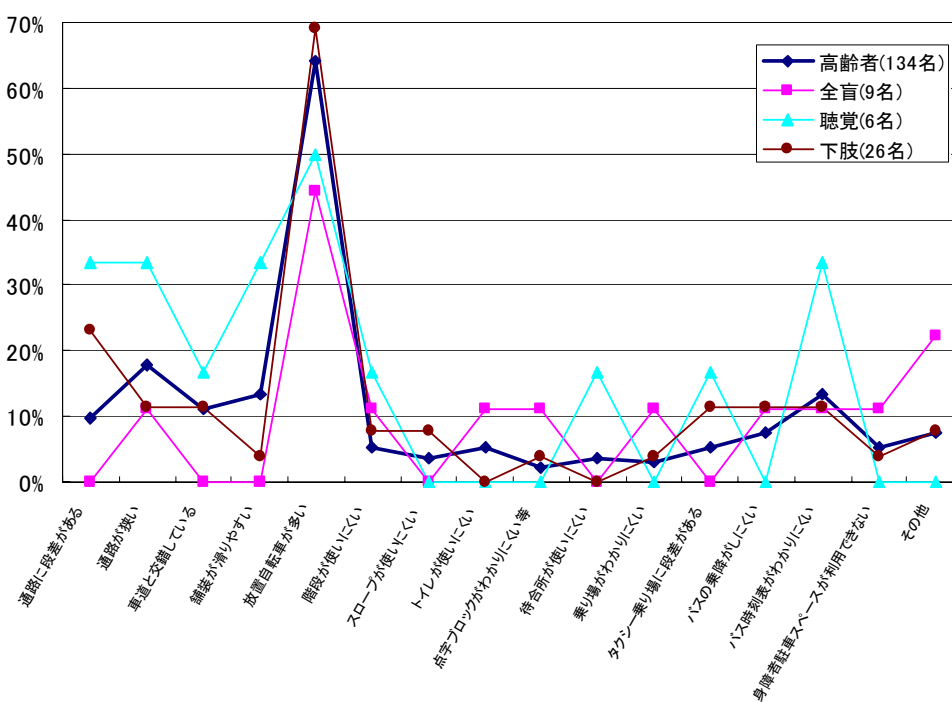
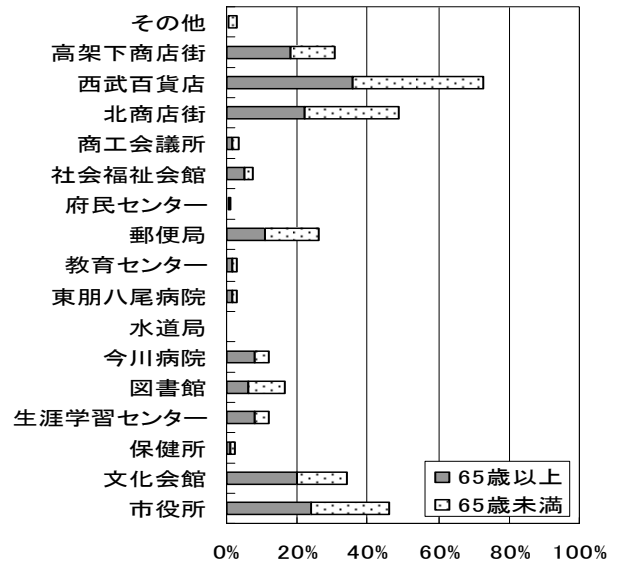


図3. 9 駅前広場の問題点

③ よく利用する施設

近鉄八尾駅周辺でよく利用する施設は、「西武百貨店」、商店街など商業施設が多く、次いで「市役所」、「文化会館」、「郵便局」の順に公共公益施設の利用が多くなっています。

年齢別には、高齢者は「生涯学習センター」、「今川病院」、「社会福祉センター」などの割合が高くなっています。



④ よく利用する経路*1

商業施設等への経路となる鉄道沿いの道路や市役所等公共公益施設が集積する地区への経路の利用が多くなっています。

図3. 10 よく利用する施設

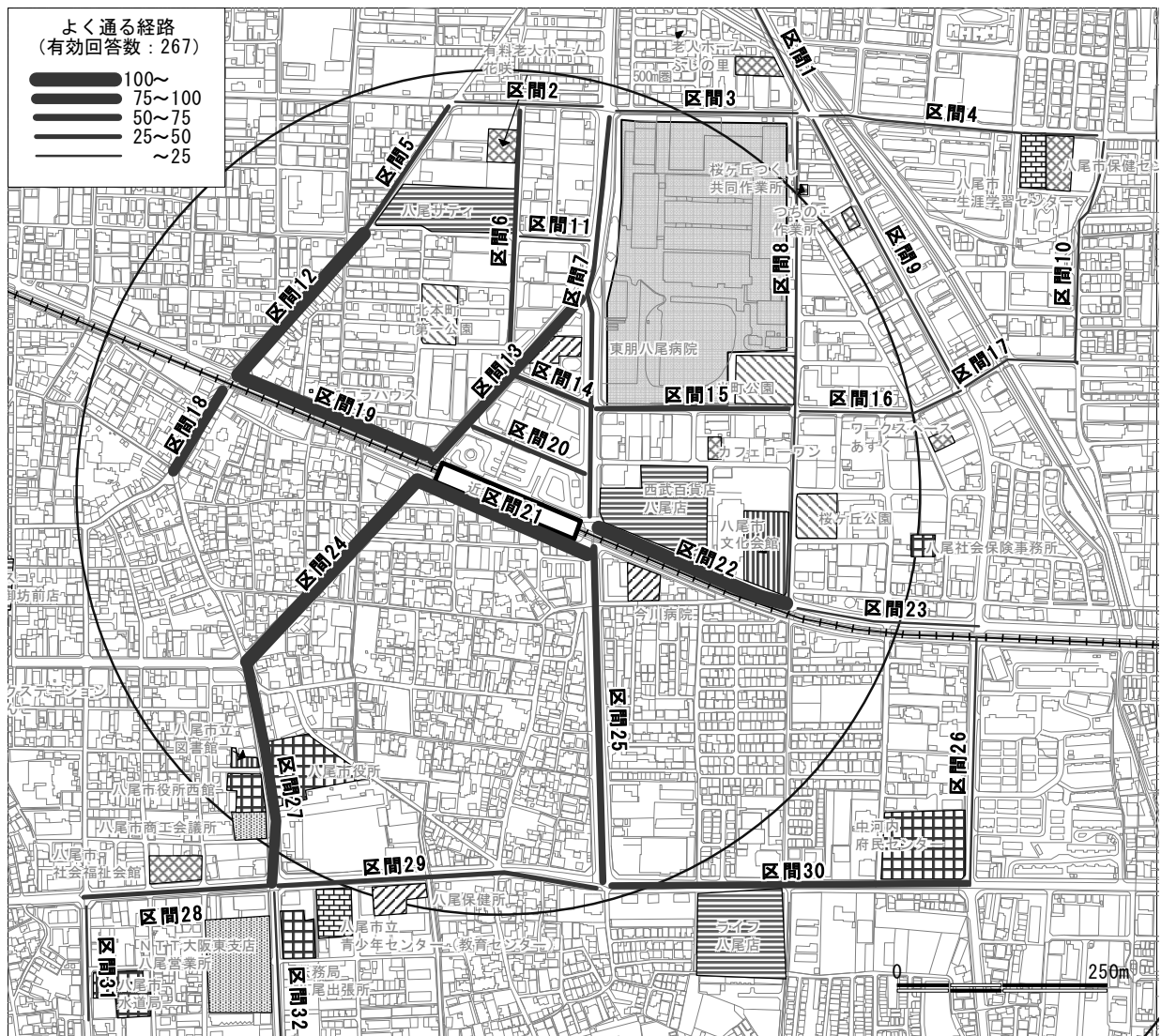


図3. 11 よく利用する経路

*1) 近鉄八尾駅周辺の主要な道路を対象に日頃よく利用する経路について回答を得ました。

(3) タウンウォッチングの実施

タウンウォッチングの実施結果は以下のとおりです。

・実施日：平成16年10月28日（木） 13:00～16:30

・参加者：106名

（障害者、高齢者の参加数）	車いす使用者	10名
	視覚障害者	6名
	聴覚障害者	5名
	高齢者	5名
	合 計	26名



図3. 12 タウンウォッチングの流れ

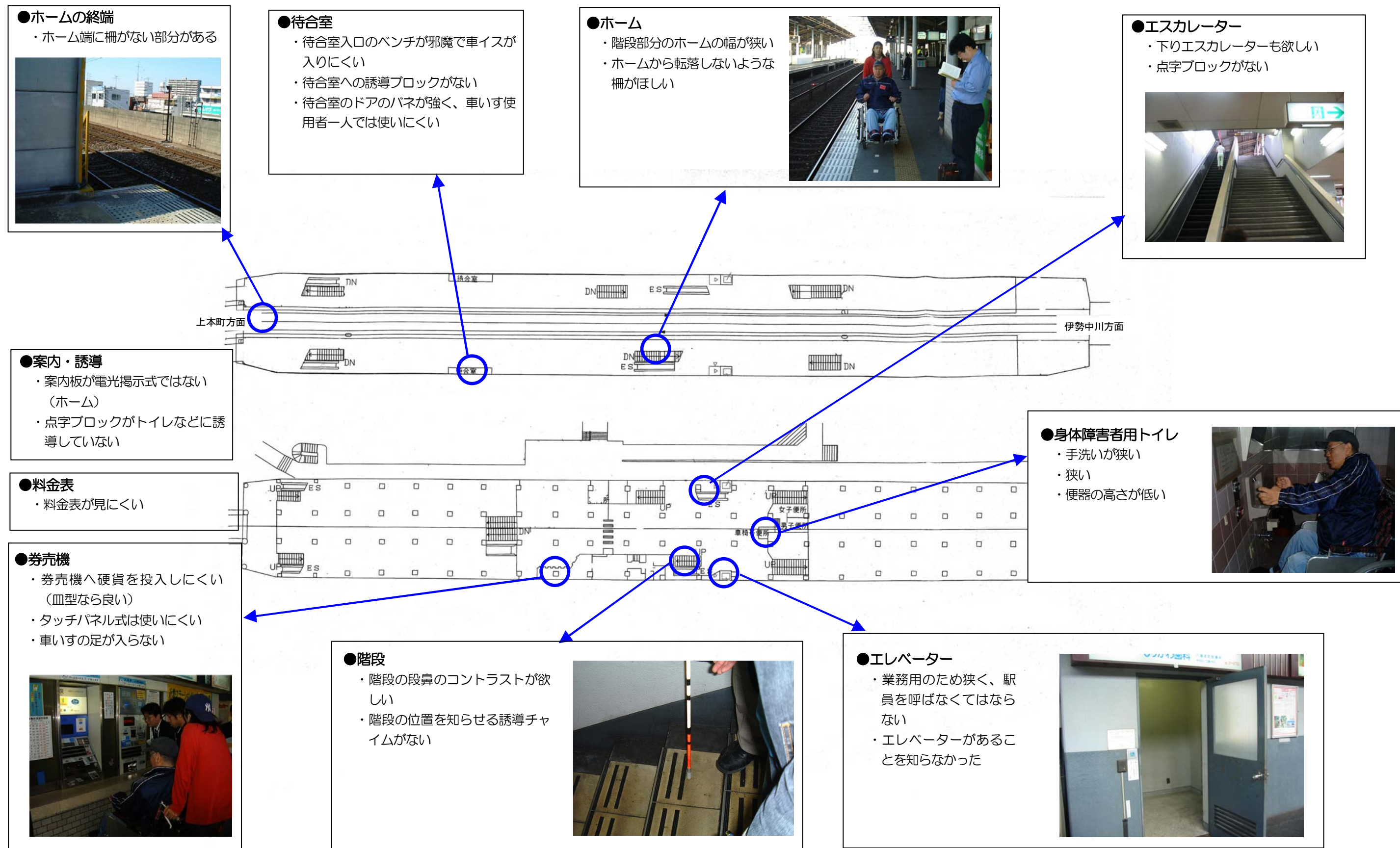


図3. 13 近鉄八尾駅での主な意見



- 市道八尾西郡線
- ・歩道がない
- ・歩行者・自転車の交通量が多い
- ・看板・陳列により道幅が狭くなっている



- 市道弥刀上之島線
- ・歩道がない
- ・交通量が多い
- ・舗装に凹凸がある



- 市道八尾401号線
(八尾中央線)
- ・放置自転車が多い
- ・点字ブロックがない
- ・透水性舗装ではない



- 一般府道八尾道明寺線
- ・透水性舗装でない
- ・点字ブロックがない



- 市道八尾第400号線
- ・舗装の目地が車いすに振動がある
- ・路面に凹凸がある



- 市道八尾第428号線
- ・交差点の段差が大きい
- ・放置自転車が多い
- ・点字ブロックがない



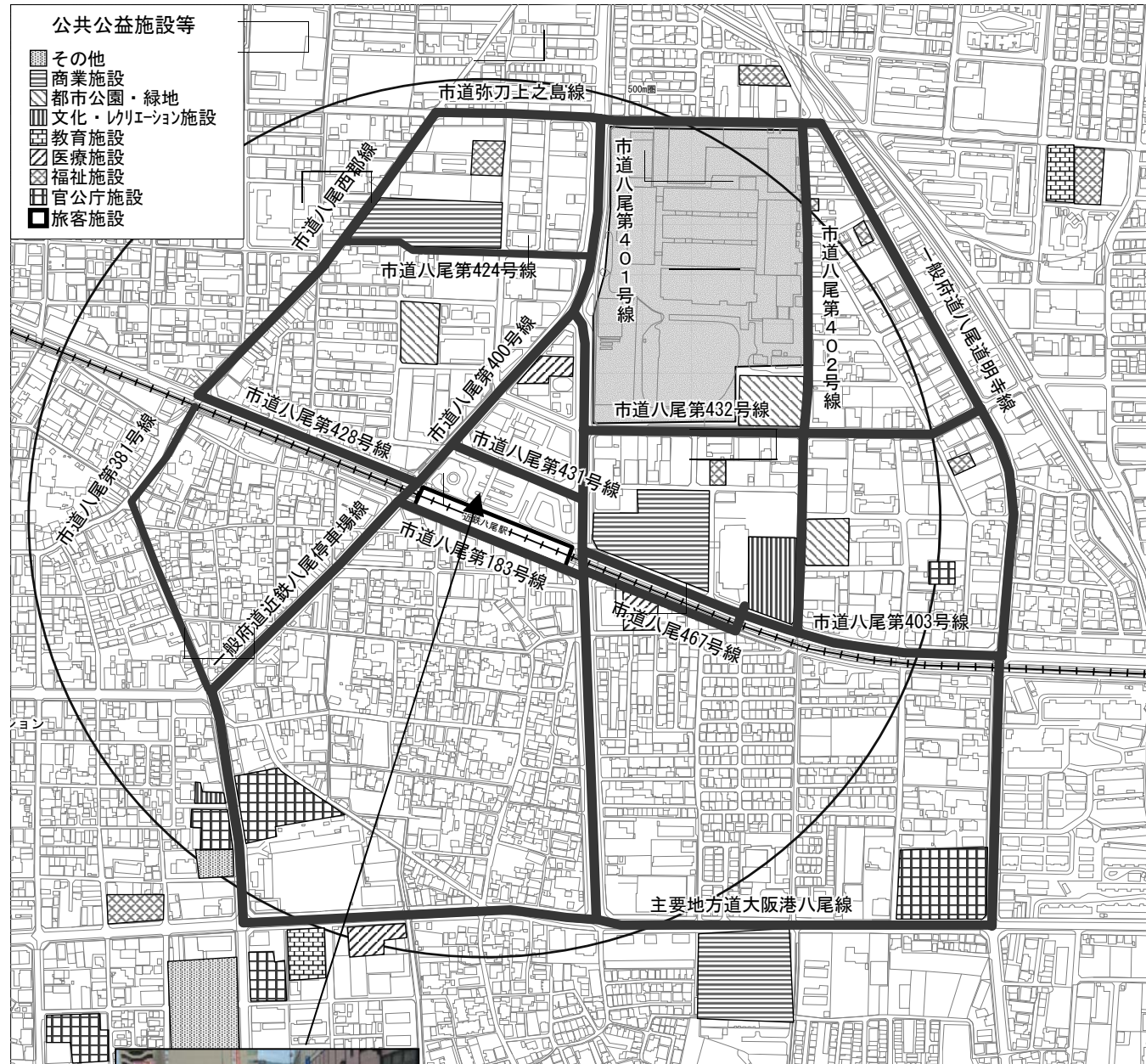
- 市道八尾第431号線
- ・点字ブロックがない
- ・放置自転車が多い
- ・はみ出し看板が多い



- 駅前広場（地上）
- ・放置自転車が多い
- ・タクシー、バス乗り場に段差がある
- ・バス案内がわかりにくい



- 一般府道近鉄八尾停車場線
- ・点字ブロックがわかりにくい
- ・横断勾配がある
- ・看板で歩道が狭くなっている



- 駅前広場（デッキ）
- ・エレベーターがない
- ・点字ブロックがない
- ・スロープが長い



- 市道八尾第403号線
- ・放置自転車が多い
- ・歩行者・自転車の交通量が多い
- ・看板・陳列により幅員が狭い



- 主要地方道大阪港八尾線
- ・看板が邪魔である
- ・駐車車両の歩道へのはみ出し
- ・看板・陳列により幅員が狭い

図3. 14 道路・駅前広場の主な問題点